

「自然大好き！科学大好き！」

遠山小学校自然・科学クラブ



平成24年3月訪問



ところ たくみ 野老 拓海部長(6年生:訪問当時)

部長として、みんなをリードした経験を、今後も生かしていきたいです

ぼくたち遠山小学校自然・科学クラブは、男女17人で、毎月第2月曜日の6時間目に、主に理科教室やグラウンドで理科の授業では扱わない科学実験や工作をしています。

これまでは、ペットボトルロケットやべっこうあめ・スライム作りなどに取り組んできました。夏には、校内にある学校林「駒の森」でクワガタなどの昆虫を観察したり、「秘密基地」を作って遊ん

だりもしました。

クラブ活動の時間は、主に部長が進行役を務めます。当日の作業がスムーズにはかどるように支えるのが、担当の石田・岩山・飯嶋先生と6年生のメンバー。みんなで作業の進め方・道具の使い方などを確認し、手順書・材料などを活動日の前に準備しておきます。

今回は、厚紙を使い「よく回る風車」作りに挑戦しました。よく回るためには、羽につける丸みの加減がポイント。丸みが大きすぎても小さくても、空気抵抗が大きくなり回転速度が遅くなってしまいます。何度も回転の具合を確認しながら、ちょうどよい羽の形に仕上げていきます。

思っていたようなビュンビュン回る風車を完成させるのは難し



こうすればよく回るかな？

かったですが、みんなで意見を出し合って楽しみながら作りました。このような作業を通して、物を作ることの難しさや楽しさを経験できることが、このクラブの良さの一つだと思います。

これからも、クラブ活動で学んだ経験を忘れずに、自然や科学に興味を持ち続けていきたいです。

なかま
と一緒
129

糸の変化に魅せられて

成田花手毬の会

わたしたちは毎月第2・4水曜日に橋賀台公民館で活動しています。公民館主催の「御手毬教室」がきっかけでサークルが結成され、今年の9月で14年目を迎えます。メンバーの女性10人を指導してくださるのは、日本手まりの会教授の池田明子先生です。

わたしたちが作る手まりは、発泡スチロールに糸を巻いて作る土台の上から刺しゅう糸で模様を施していくものです。手まり作りの楽しさは、刺しゅう糸の組み合わせ。糸には、太さや色・光沢の違いにより、たくさん種類があります。

糸の組み合わせを変えることで、模様は同じでも作品の仕上がりは全く違う雰囲気。



おしゃべりも楽しみ



花や幾何学模様などさまざま



自慢の作品を手に

そんな手まりの奥深さに魅せられて、糸の組み合わせの変化を楽しみながら家で作った手まりは、いつの間にか数え切れないほどになりました。作った手まりは、家の中に飾ったり、親しい人にプレゼントしたりしています。取り組む模様の難易度は、技術のレベルに応じて上がります。作ってみたい模様のレベルにまで自分の技術を向上させるのが、目標でもあり楽しみでもあるんです。自分が作った手まりを並べてみると、「上達しているな」と成長を実感することができますね。わたしたちはこれからも、糸が織りなす奥深さを追求していきたいと思っています。



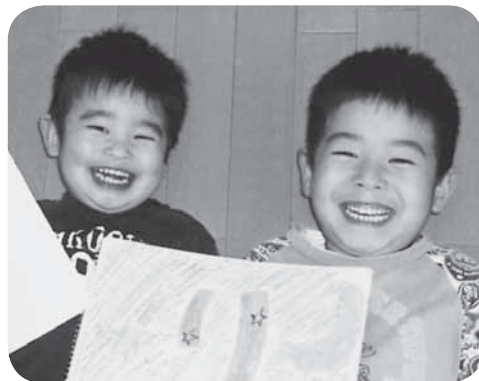
かなた
奥山 叶太くん(1歳)吾妻

お外が大好き。三輪車でのお散歩がお気に入りです。



林
こうすけ
煌介くん(3歳・右)はなのき台
まなみ
愛実ちゃん(2歳)

歌と絵本が大好きなわが家のアイドルです♥すくすく育ててね。



あきひろ
有村 陽大くん(5歳・右)公津の杜
ともゆき
知幸くん(2歳)

そっくりな笑顔で毎日にぎやかな兄弟です。



れいしん
小山 禮新くん(2歳)久住中央

Good Smile!いつも素敵な笑顔
をありがとう♥

スクスクのびのび